令和４年度　防衛大学校卒業式
久保 防衛大学校長式辞

本科６７期の皆さん、研究科の皆さん、卒業まことにおめでとうございます。

本日、防衛大学校本科４６７名、理工学研究科及び総合安全保障研究科前期課程併せて６４名、同様に両研究科後期課程合計９名が卒業の佳き日を迎えました。この中には３０名の留学生も含まれています。防衛大学校の教職員を代表して、本日小原台を巣立つすべての卒業生及びそのご家族の皆様に対して、心からお祝いを申し上げます。

ご家族の皆様、本日見事防大を卒業する諸君に対して「よく頑張ったね」と誉めていただければ幸いに存じます。

本日の式典には、岸田　文雄 内閣総理大臣および浜田　靖一 防衛大臣のご臨席を賜っています。ご多忙の中でのご来訪に衷心よりお礼申し上げます。さらに、防大ＯＢ　２２期生の皆様にも出席いただいています。また、来賓代表としてご臨席いただいている日本商工会議所名誉会頭・三村明夫様からは後程ご祝辞をいただくことになっております。

周知のように我が国を取り囲む安全保障環境が顕著に悪化しています。しばらくは辛抱の時期が続きそうです。しかしながら、希望を持ち続けることはできると考えています。

中曽根康弘元首相は、外交の要諦の一つとして、「世界史の正統的潮流からはずれてはならない」と指摘されています。現在日本が、「自由で開かれたインド太平洋」構想を掲げ、自由と民主主義を実践する同盟国及び多数の友好国と共に歩んでいる道は、まさに世界史の正統的な潮流の中にしっかりと立っていると断言できます。

希望を持ち続けることができるもう一つの理由はまさに皆さんの存在です。

日本に万が一のことがあった場合、その対応の中心になるのはここに集う皆さんです。その基礎はすでにできています。これからも職にある限り訓練と精進を続けていただければと思います。
同時に、皆さんの努力が国民・政府のそれと一体となって何事も起こらず、皆さん一人のこらず、無事に職業的人生を全うされることを心よりお祈りしています。

本日ご列席のすべての皆様に対して、今後とも防大・防衛省自衛隊、就中本日の卒業生諸君に対してご支援いただくことをお願いして、本日の式辞とさせていただきます。

令和５年３月２６日
防衛大学校長　久保文明